

場 所		分 類		
原子炉建屋内	RB	RB 3	1 時間	
タービン建屋内	TB		2 距離	
R ZONE	R		3 遮へい	
Y ZONE	Y		4 線源の除去	
G ZONE	G		5 遠隔、自動化	
その他 ()	Z		6 汚染拡大防止	
			7 その他	
		番 号	30-03-01	
内 容		遠隔操作設備設置時の遮へい		
作業場所		1号機原子炉建屋5FL(オペフロ) 周り		
概 略		オペフロに堆積しているガレキ等を遠隔工法で撤去するため、原子炉建屋周りに遠隔操作のための電源・通信設備を設置する。		
評 価 (定性・定量)	効 果		対策前	対策後
		被ばく線量(mSv)	21.0/8.0	1.0/4.0
		人工数(人日)	--	--
事例詳細				
対策前 作業床での線量率が高線量率であった。 対策内容 梁強度の関係から全面的な遮へい設置が不可となったため、作業エリアとなる場所にクレーンで遮へい体を吊って作業場所の線量率低減を図った。				
				
		遮へい前→後 21.0mSv/h ↓ 1.0mSv/h 遮へい前→後 8.0mSv/h ↓ 4.0mSv/h		
作業エリアの雰囲気線量率が低減				
遮へい体厚さ: 80mm 同 質 量 : ~700kg				
南作業床吊り遮へい状況				